Pioneer sound.vision.soul

ステレオヘッドホン

SE-MJ7NS

このたびは、東北パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの「取扱説明書」を最後までよくお読みのうえ、『安全上のご注意』に従い正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

取扱説明書

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この安全上のご注意、取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

		絵記号の例	
⚠危険	この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。		△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。		⦸記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれいます。
	この表示の欄は「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。		●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

［交通安全のために］

● 自転車に乗りながらや、オートバイ・自動車などの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。	
● 踏切や横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工場現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所での使用はしないでください。（歩行中でも音量を上げすぎると周りの音が聞こえにくくなり危険です。また、周囲の音を低減するタイプのヘッドホンですので、警告音なども聞こえにくくなります。）	

⚠注意

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。	
● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	
● 耳を保護するため、オーディオアンプに接続する場合は、オーディオアンプのボリュームを最小に、ヘッドホンのボリュームを最大にしてから接続し、オーディオアンプのボリュームを調節してください。	

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破損・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

・単4形アルカリ乾電池
・単4形マンガン乾電池

⚠危険

［乾電池が液漏れしたときは］

素手で液を触らない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してくだい。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠警告

［乾電池について］

- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温になる場所で使用・保管・放置しない。
- コイン・キー・ネックレスなどの貴金属と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因となるので、直ちに医師に相談する。

⚠注意

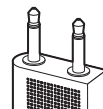
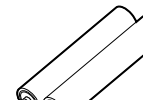
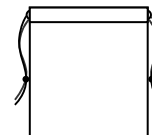
- 使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない。

主な特長

■ **ノイズキャンセリング+サラウンドで音楽鑑賞から映画の視聴まで幅広く使用可能**
・アクティブノイズキャンセリング機能を搭載し、騒音を1/5に低減
・航空機内の映画視聴などに最適な「SRS HEADPHONE®」サラウンド機能を搭載

■ **「ノイズキャンセリング」と「ノイズキャンセリング+サラウンド」の2つの機能が選択可能**
・電源を切って通常のヘッドホンとしても使用することができます

■ **大口径ユニット密閉型ヘッドホンで迫力のあるサラウンドを実現**
・大口径40 mmユニット搭載
・ユニットには高磁力の希土類マグネットを採用

■ **使い勝手が良く、優れた収納性を実現**
・折りたたみ式で、収納に便利なポーチを付属
・音量ボリューム付き
・着脱が可能な片だしコード仕様
・航空機用プラグ（デュアルプラグ）アダプターを付属

ノイズキャンセリング機能について
飛行機や電車、バスなどの乗り物内での騒音や、屋内のエアコンの騒音など、周囲の騒音を約1/5に低減し、快適に高音質のサウンドが楽しめます。この機能によって、音量を上げ過ぎる必要がなく、音漏れの心配も軽減されます。
※ 周囲の音がまったく聞こえないわけではありません。

製品の構成

本製品をお使いになる前に、すべてそろっているか確かめてください

・ヘッドホン

・接続コード 1.5 m

（φ 3.5 mm 3P ミニプラグ⇔φ 3.5 mm L 型 3P ミニプラグ）

・航空機用プラグアダプター

・単４形アルカリ乾電池※（２本）

※動作確認用

・キャリングポーチ

・取扱説明書（本書）

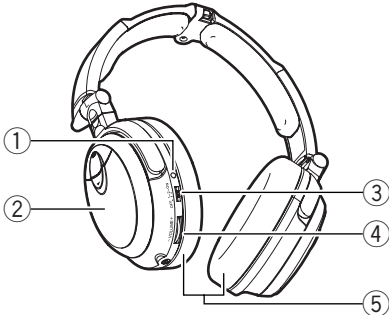
各部の名称とはたらき

① **電源インジケーター**
電源を入れると点灯します。

② **電池カバー**
スライドさせるとカバーが開きます。

③ **電源スイッチ**
電源 OFF、ON1（ノイズキャンセル ON）、ON2（ノイズキャンセル+ SRS サラウンド ON）を切り換えます。

④ **VOLUME（音量）つまみ**
音量を調整します。

⑤ **イヤーパッド**

電池の入れかた

① ヘッドホンＬ側（左）の電池カバーを矢印の方向に押し下げて開けます。

②極性表示どおりに電池を入れます。

③ 電池カバーを矢印の方向に押し上げて閉めます。

■電池の交換時期

電池が消耗してくると電源インジケーターが暗くなり、音がひずんだり雑音が多くなったりします。乾電池は２本とも新しいものと交換してください。ヘッドホンを連続使用した場合の電池の寿命はおおよそ以下のとおりです。（周囲の温度や使用状態により、電池寿命が異なる場合があります。）

単4形アルカリ乾電池......約20時間
単4形マンガン乾電池......約8時間

ご注意
・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

使いかた

耳の保護のため、ご使用前にヘッドホンのボリュームダイヤルまたは再生機器の音量を下げておいてください。

① **付属の接続コードをヘッドホンに差し込み、接続コードのプラグ部を再生機器に接続します。**

② **ヘッドバンドの長さを調整しながら、ヘッドホンをかけます。**
右ハウジング（R）が右耳に、左ハウジング（L）が左耳にくるようかけてください。

③ **ヘッドホンのVOLUME（音量）つまみで音量を調整します。**
電源スイッチを OFF にしていても音量を調整することができます。

ご注意
・コードを取り外す時は、プラグを持って取り外してください。
・飛行機のオーディオシステムに接続するときは、付属の航空機用プラグアダプターをご使用ください（飛行機によっては、互換性がない場合があります）。
・航空機内では以下の場合使用しないでください。
　－電気製品の使用が禁止されているとき
　－個人のヘッドホンで機内音楽サービスを聞くことが禁止されているとき
・ヘッドホンを使用しない時は電源スイッチをOFFにしてください。

通常のヘッドホンとして使用する場合

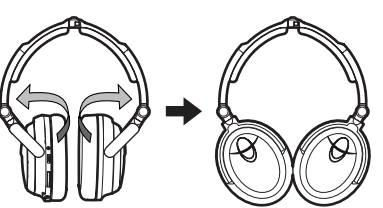
ヘッドホンの電源スイッチを「OFF」にします。
電源スイッチを「OFF」にしたままでも音楽を聞くことができます。通常のステレオ2チャンネル再生を行いますが、このときノイズキャンセリング機能やSRSサラウンドは働きません。

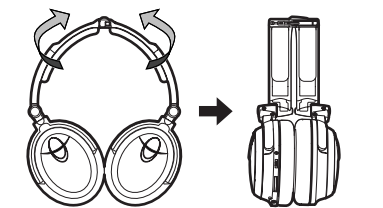
ノイズキャンセリング機能をオンにして使用する場合

ヘッドホンの電源スイッチを「ON1」にします。
電源インジケーターが緑色に点灯し、ステレオ2チャンネル再生を行います。環境ノイズが低減され「OFF」の時よりも小さい音量で、より明瞭に音楽を聞くことができます。

ノイズキャンセリング機能とSRSサラウンド機能をオンにして使用する場合

ヘッドホンの電源スイッチを「ON2」にします。
ノイズキャンセリング効果と、SRSサラウンド効果を同時に得ることができます。

ご注意
・ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域の音のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域の音に対しては効果ありません。
・ヘッドホンのマイク部分を手などで覆うと、ピーという音（ハウリング）が出ることがあります。このような場合は、マイク部分から手を離してください。
・ヘッドホンのかけ方により、ノイズキャンセリング効果が減少することがあります。

お使いになったあとは

電源スイッチを「OFF」にします。
電源スイッチを「OFF」にしたままでも音楽を聞くことができます。このとき、ノイズキャンセリング機能は働かず、環境ノイズは低減されません。

ヘッドホンのしまいかた（折りたたみかた）

下図のようにしてヘッドホンをしまうことができます。

①**イヤーパッドの向きを変えます。**

②**ヘッドバンドを図のように折りたたみます。**

③ **ヘッドバンドとイヤーパッドを合わせるように折りたたみます。**

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、チェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のＡＶ機器などもあわせてお調べください。
下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症状	処置
音が出ない	・ヘッドホンとAV機器との接続を確認する。 ・ヘッドホンを接続したAV機器の電源が入っているか確認する。 ・ヘッドホンを接続したAV機器の音量を上げる。 ・ヘッドホンの音量を上げる。
音がひずむ	・ヘッドホンを接続したAV機器の音量を下げる。 ・ヘッドホンの乾電池を新しいものと交換する。
電源が入らない	・ヘッドホンの乾電池を新しいものと交換する。 ・乾電池の向き（極性）が正しく入っているか確認する。
ピーという音 (ハウリング) が出る	・ヘッドホンのマイク部分を手などで覆っているときは、手を離す。
ノイズキャンセルの効果が得られない	・電源スイッチの位置を「ON1」または「ON2」にする。（このとき電源インジケーターは緑色に点灯）

使用上のご注意

取り扱いについて

● ヘッドホンを落としたり、ぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
● 常に良い音でお聞きいただくために、プラグ部は時々柔らかい布でから拭きし、清潔に保ってください。プラグ部を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりする事があります。

設置について

● 次のような場所には置かないでください。
　・窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、および暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
　・ほこりの多い所
　・風呂場など、湿気の多い所

ヘッドホンについて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多い所では、音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられた時に返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

イヤーパッドについて

ヘッドホンのイヤーパッドは長期の使用や保存により、劣化することがあります。

お手入れのしかた

機器の外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液で湿らせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げを傷めるので使わないでください。

異常や不具合が起きたら

● 万一、異常や不具合が起きたり、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店、またはパイオニアサービスステーションの窓口にご相談ください。
● お買い上げ店、またはサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンと接続コードを一緒にお持ちください。

その他特記事項

本機はノイズをキャンセルし、快適に音楽を楽しんでいただくことを目的に設計されています。パイロット用やFAAに定められている飛行中のコミュニケーション用としては設計されていないため、本来の目的以外では使用しないでください。

仕様

型式・・・・・・・・・・・・密閉型ダイナミック
使用ユニット・・・・・・φ40　希土類マグネット
最大入力・・・・・・・・・・・・・・・100 mW
インピーダンス・・・24 Ω（ON）、52 Ω（OFF）
音圧感度・・・121 dB（ON1）、115 dB（OFF）
再生周波数帯・・・・・・20 Hz～20 000 Hz
雑音抑圧量・・・・15 dB 以上（300 Hz にて）
電源・・・・・・・DC　3　V（単４形乾電池×2）
質量・・・・・・約 200 g（コード、電池含まず）

■付属品
航空機用プラグアダプター・・・・・・・・・×１
接続コード
（φ3.5 mm 3P ミニプラグ⇔φ3.5 mm L 型 3P ミニプラグ）・・・・・・・・・・・・・・・×１
単４形アルカリ乾電池・・・・・・・・・・・×２
キャリングポーチ・・・・・・・・・・・・・×１
取扱説明書

●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

この製品の保証期間はお買い上げ後１年間です。普通の使用状態で保証期間内に故障した場合、無償修理致します。お買い上げの販売店に製品とお買い上げの領収書（またはレシート）を必ずご持参ください。保証期間中および経過後のアフターサービスについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。なお、お買い上げの確認のために、必ず販売店の領収書（またはレシート）を保存してください。
当社は、この製品の補習用性能部品を製造打切後最低６年間保有しています。
また、この製品は一般家庭用として作られたものです。営業目的で使用し故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）
●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070−800−8181−22　■一般電話　03−5496−2986
■ファックス　03−3490−5718
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

平成18年7月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.019

東北パイオニア株式会社 〒994-8585 山形県天童市久野本1105
Printed in China〈WRA1101-A〉